

# My Town Topics

地域の行事や身近な話題、耳よりな情報をお待ちしています。

## ★ 地 第54回県下一周市郡対抗駅伝競走大会 元3選手が出水チームで健闘

第54回県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月17日から21日までの5日間行われ、53区間592.7キロで健脚が競われました。

2月16日には、出水市役所で出水チームの出発式が行われ、選手たちは健闘を誓いました。今大会には、丸橋雄太さん(22)、浦底孝行さん(17)、中浦栄作さん(16)の本町出身者3人も出場。出水チームは、前回大会より順位を上げ、総合8位となりました。



↑出水市役所であった出水チームの出発式

↓食品をつくる際の服装について学ぶ児童たち



## ★ 給 サンレディーながしまを見学 食の味噌はここで作っています

サンレディーながしま加工組合(赤瀬栄子代表)を2月22日、城川内小学校の加工所学習グループ(3、4年・7人)が見学しました。

「関が原の戦いに薩摩兵児はあくまきを持参した」「給食の味噌はここで作られている」などと赤瀬代表があくまきの由来や加工品などを紹介すると、児童たちはメモを取ったり、写真を撮ったりして熱心に学んでいました。

## ★ 見 学習フェスタで読み聞かせ 童が興味を持てるものを

本浦小学校(岩園伸一郎校長・31人)の学習フェスタが2月22日開催され、保護者たちが大型紙芝居とパネルシアターを披露しました。

同校の学習フェスタでは、保護者たちは歌を歌うのが定番でしたが、ここ数年「児童たちが興味を持てるものにしたい」と、読み聞かせを行うようになりました。

紙芝居で登場人物ごとに声を変えたり、シアターで読み手と張り手の息を合わせたり、児童たちが分かりやすいようにと、保護者たちは家庭教育学級の中で練習を重ねてきました。

練習の甲斐あって児童たちは、保護者たちの発表「読み聞かせ」に興味深く観覧していました。



↑登場人物ごとに声を変え、大きな紙芝居を披露

←パネルシアターは、読み手と張り手が息を合わせるのが難しかった